



9 月 10 日新聞発送

さくら新聞の発送作業を行った。狭い事務室に記者まで入って 11 名が集合。手紙と新聞をあわせて折る人、それを封筒に入れる人、封筒を糊で封する人に分かれて流れ作業。ご婦人達の手早い作業には感心するが、もっと驚嘆するのは、その間中、世間話が物凄いスピードで飛び交っている。頭と手が別々の行動をして平気なのだ。

9 月 11 日定例会

この朝は好天に恵まれ、暑さも和らぎ、久しぶりの集合に 48 名出席。今回の作業は桜にからむ蔦の除去班と草刈班が 2 班の 3 班に分かれて作業した。

深坂茶屋駐車場

この崖と崖の上の雑草も、ほとんど毎回のように入草刈の対象区域となる。今回は下関市農林水産部次長の江村さん、県の森林づくり主任技師田坂さんも参加されました。

なでしこミサカ

たまたま、女性陣が集合前に柵にもたれて圧巻だったのでカシャリ。丁度、なでしこジャパンのワールドカップ優勝の余韻覚めやらぬ頃とて、そんな名で呼んでみたくなりました。

10 月 6 日維持管理部会

この日は、17 名が参加し、オーナー桜のネームプレート脱落したものの確認と、再取り付け、図面上と実際の樹木の照合を行った。これが、面倒でなかなか一致せず、混乱気味。



みんな刈り払い機で豪快に草刈りするのは得意で、気分も晴れ晴れするが、このような面倒な仕事は苦手という人も多い。オーナー自身が事務局と連絡を取りながら自分の分の管理はやって欲しいという意見の人も多いが、いや、植えた人の気持ちを考えてやってやろうじゃないかという奇特な人もいる。さて、今後どうなるのか。



たかどうかわからない。3 年目で枯れることも少なくないとか。ミサカでも、この春植えたシャクナゲ 50 本のうち 10 本程度は枯れたようである。10 本枯れたのを失敗と見る必要はない。枯れた 10 本については、ちょっとした植え方の差があったのではないかと気付いている。今回は、そういう注意をして植えているので楽しみだ。

10 月 30 日柿狩り

松岡さんの企画である。福岡県浮羽市の松岡さんの親戚の農家に柿狩りにでかけた、一行は 23 名。マイクロバスを借りて、運転は和泉さん。この日、まずは小石原に焼き物を見に行った。本番の柿狩りはあいにくの雨で（写真上）。写真下は収穫した柿を屋内で、試食しているとところだ。夕方、下関に帰着。参加者は皆満足。

11 月 4 日 シャクナゲ

長門市のシャクナゲ園を作り上げた金沢さんからシャクナゲを 18 本プレゼントしようという申し出を受けて、福富、平野、西川の 3 名が受け取りに出向き、午後からは維持管理部会などの有志 9 名で植樹を行った。桜余地さえあれば、もっと植えたいが、適地がない。シャクナゲもレパトリーに加えたが、その植樹は必ずしも容易ではない。金川さんの言でも、3 年ぐらいいは本当に付い



フユノハナワラビ

ハナヤスリ科ハナワラビ属。日本全国、東アジアの温帯から熱帯に分布。深坂の森の 3 箇所で見かけた。株の大きいもの、小さいものがあり、フユノハナワラビとオオハナ

ワラビの 2 種ではないかと調べてみたが、どれも茎に毛がほとんどなく、どちらもフユノハナワラビであろうと思う。夏は地上部が枯死して休眠します。